

あさひまち

広 報

2003 年 2 月号

No. 555

特 集 広報座談会 地域の子どもたちをみんなで育てよう

町政スポット／町職員の給与等のあらまし

まちの話題／ゆきだるまコンサート、朝日自然観CUPハーフパイプ大会 ほか



雪上で激しい札の争奪戦

(エコミュージアム・カルタ大会 1/25)

地域の子どもたちを みんなで育てよう

「ゆとり」の中で子どもたちの「生きる力」を育てようと、今年度より始まった「完全学校週5日制」。スタートからまもなく1年、子どもや保護者のみなさんはどのように受け止めているのでしょうか。

今月は、学校週5日制に関するアンケート結果を紹介するとともに、家庭や地域における子どもたちの育成について考えてみます。



豊龍神社祭礼でたるみこしをかつぐ子どもたち

有意義に過ごしてほしい 週末の二日間

●司会 今回の座談会は、子どもたちの健全育成活動に取り組んでおられる四人のみなさんにお集まりいただき、「家庭や地域における子どもたちの育成」をテーマに話し合っていたいだきたいと思います。

はじめに、今年度より実施された「完全学校週5日制」についてお伺いします。スタートしてもまもなく一年になりますが、子どもさんの様子などはいかがですか。

●今井 私の子どもは友達と遊んだり、町の行事に参加するなどして楽しく過ごしています。「休みが増えたらゲームばかりするのではないか」と始まる前は心配しましたが、子どもなりに計画を立てて有意義に過ごしているようなので今は安心しています。

●細谷 子どもは休みが増えて喜んでいるようですが、親としてはいくつかが心配があります。特に学力の低下が心配です。子どもの勉強を見ていると、わりと簡単な問題なのに解けず、このまま社会人になったら……と不安になることがあります。

●司会 学力低下の問題は、昨年七月に町教育委員会が行った「完全学校週5日制にかかわるアンケート調査結果」(④、⑤ページに掲載)でも、保護者のみなさんから心配の声が寄せられていました。

学校週5日制のねらいの一つには、これまでの点数主義の教育からゆとりある教育への転換があります。知識の詰め込み式でなく、いろんな体験を通して、自ら学ぶ意欲や考える力をつけさせるといふものです。学校での授業時間は確かに減りましたが、これまで二重に教えていたことなどを中心に減らしています。学力面の問題は学校とよく話し合うことが大切ではないでしょうか。

●遠藤 家庭においても予習・復習を習慣化させたり、親が勉強をみてあげたりして学力の向上を図らないといけませんね。

●司会 では次に子どもたちの生活面についてはどうですか。

●長岡 私の子どもはよく友達と遊んでいます。でも、ゲームなど家の中の遊びが多く、外での遊びが少ないように思ひ

今井 一彦さん
(大町)

宮宿小PTA副会長。
小学4年と保育園児の
父親。



細谷 秀明さん
(宇津野)

中部地区子ども会育成
協議会副会長。
小学5年と2年の父親。



長岡 早苗さん
(太郎三)

町青少年育成推進員副
会長。
小学3年と2人の保育
園児の母親。



遠藤美枝子さん
(真中)

交遊塾ドキドキ探検隊
のボランティア指導員。
中学2年と小学4年、
保育園児の母親。



司会/
熊谷昌彦 広報委員

町教育委員会管理課主
幹。今年度より町広報
委員に。大学生と高校
生の父親。



座談会出席者

ます。休みの日は友だちの家で
一日中遊ぶこともあり、引きこ
もつての遊びがとても心配です。
●今井 「休みの日は一日中ゲ
ームをして過ごす」という子ど
もが多いようですが、家の人が
「ゲームは休みの日にしなさい」
と言っている場合もあるのでは
ないでしょうか。ゲームに関し
ては、時間を決めてやらせるな
ど、親がうまく指導しなければ
ならないと思います。
●細谷 せっかくの休みなのだ
から、有意義に過ごしてもらい
たいですね。親としてはゲーム
よりも勉強や手伝い、読書、趣
味などの時間を増やして欲しい
のですが。子どもといっしょ
に休日の過ごし方を話し合っ
てみることも大切ですね。
●遠藤 休みの日は家庭や地域
の中で学校の授業とはまったく
違った体験ができたり、自分が
好きなことに打ち込める絶好の
機会だと思います。いろいろな
ことに挑戦し、自分が本当に好
きなものの、夢中になれるもの
を見つけて欲しいですね。
●今井 増えた休日をもどくよう
に過ごすかを決めるのは子ども
自身ですが、子どもたちがいろ
んなことを体験し、学べる場を
私たち大人が提供してあげるこ
とも必要ではないでしょうか。

『学校週5日制』のねらい

- ①子どもたちの家庭や地域社会での生活時間の
比重を高める
- ②子どもたちの生活にゆとりを持たせ、主体的
に使える時間を増やす
- ③家庭・地域社会・学校が連携しながら、子ど
もたちに様々な体験活動をさせ、「生きる力」
を育む

『生きる力』とは

- ①自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、
主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決
する資質や能力
- ②自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人
を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性
- ③たくましく生きるための健康や体力

完全学校週5日制にかかわるアンケート調査

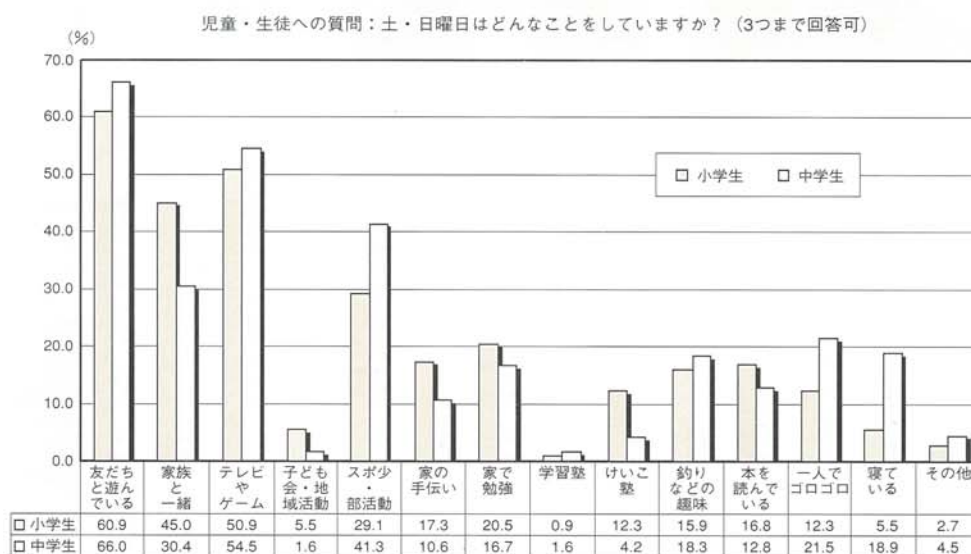
平成14年4月から「完全学校週5日制」が実施されたことを受けて町教育委員会は、子どもたちの生活実態の把握と保護者の意識調査を目的に昨年7月、各学校を通してアンケート調査を実施しました。

■実施時期 平成14年7月

■調査対象

①小学4年～6年の児童全員248人	回答者数220人	回答率88.7%
②中学1年～3年の生徒全員327人	回答者数312人	回答率95.4%
③小学生と中学生の保護者全員809人	回答者数601人	回答率74.3%
内訳		
小学校低学年の保護者234人	回答者数141人	回答率60.3%
小学校高学年の保護者248人	回答者数194人	回答率78.2%
中学生の保護者327人	回答者数266人	回答率81.3%

ここに掲載したアンケート結果の割合は、 $\frac{\text{各項目の回答数}}{\text{回答者数}}$ により算出しました。



●司会 学校週5日制の大きなねらいは、学校、家庭、地域が協力し、子どもたちに豊かな社会体験や自然体験などの機会を提供し、自ら学び自ら考える力や豊かな人間性などの「生きる力」を育むことです。ですから、

いろいろなことを学ぶきっかけを与えてあげることがとても大切だと思います。

地域を舞台に行われる「生きる力」を育む活動

●司会 さて、今日お集まりいただいた方々は、その「生きる力」を育む活動に日ごろ取り組

んでおられるみなさんです。ここで、活動の紹介をお願いしたいと思っています。

●細谷 私は上郷地区子ども育成会の代表をしています。

上郷地区では子ども会と学校が互いに協力しながら、子どもたちの育成活動を行っています。今年度は学校に一泊する宿泊体験や地域めぐり、あいさつ運動などを行いました。ほかに、区ごとにクリーン作戦を行ったり、お祭りやお柴灯などの地域行事に積極的に参加しています。ちよつとおもしろい活動としては、大滝区子ども会でお正月に初詣売りをしています。地区の人たちは子どもたちが売りにくるのを毎年楽しみにしてくれているそうです。

地域の伝統や地区民とのふれあいを大切にした活動を通して、子どもたちに地域の良さを伝えたいと思っています。

●遠藤 私がボランティアとして参加している「ドキドキ探検隊」は、秋葉山周辺の豊かな自然を生かした活動を通じて、町の将来を担うたくましい子どもたちを育成しようと平成九年に

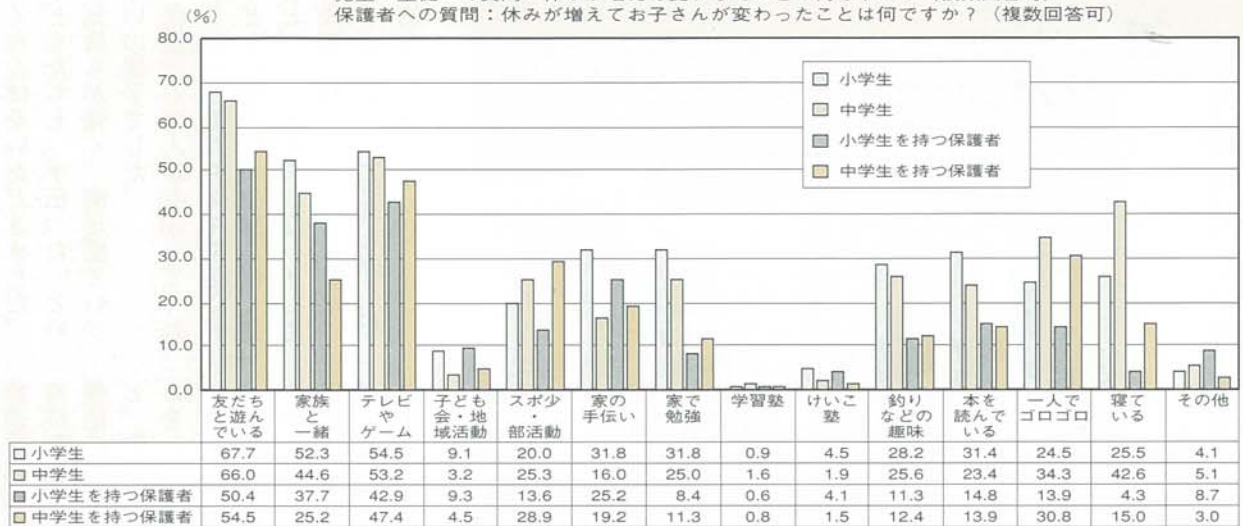


馬神ダムをカヌーで散歩（ドキドキ探検隊）

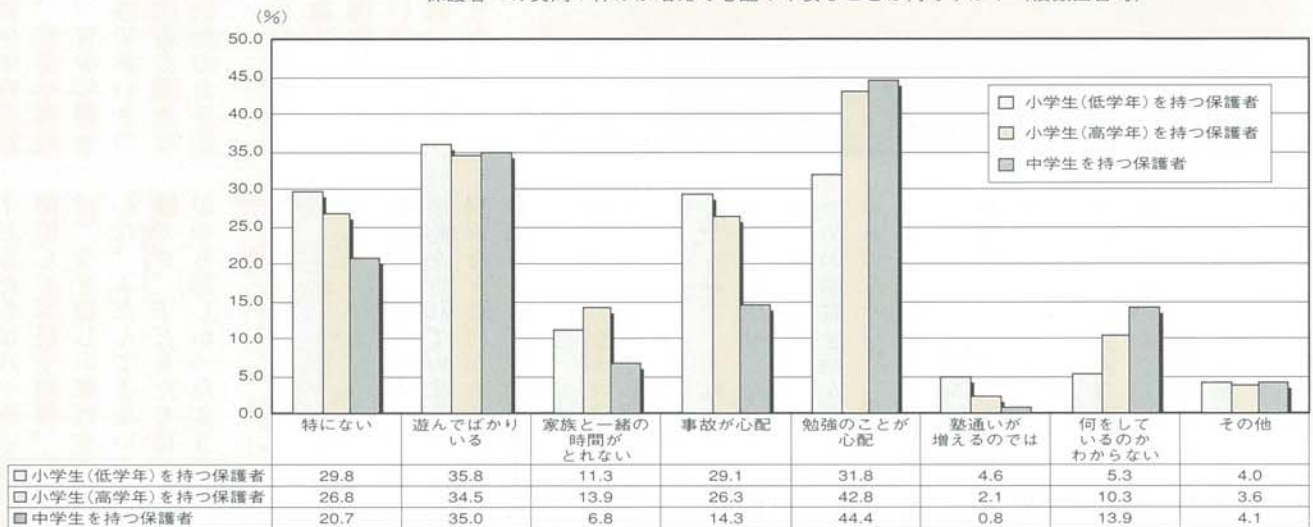


学校で宿泊体験（上郷地区子ども会）

児童・生徒への質問：休みが増えて変わったことは何ですか？（複数回答可）
保護者への質問：休みが増えてお子さんが変わったことは何ですか？（複数回答可）



保護者への質問：休みが増えて心配や不安なことは何ですか？（複数回答可）



特集 ● 子どもたちの育成を考える広報座談会 地域の子どもたちをみんなで育てよう

発足しました。
主催は北部公民館、共催が大谷小で、実際に企画運営にあたっていているのは「ドキドキ探検隊達人クラブ」というボランティア団体です。活動は年十回で、今年度は馬神ダムでのカヌーや日光山登山などを行いました。体験型の活動なので、子どもたちはとても楽しいようです。
達人クラブのメンバーは指導者という立場ではなく、近所のおじさん、おばさんという感じで子どもたちと接しています。
メンバーの中には「以前子どもが加入して大変お世話になった

ので今度は私が協力したい」という方もいて、それぞれができる範囲で協力しています。私は今年度からメンバーに加わりました。これまでは、自分の子どもと同年齢の人たちとしか接する機会がなかったのですが、活動のおかげでたくさんの子どもの保護者のみなさんと知り合いになることができました。また、木を使ってしばを束ねるなど、私自身これまで知らなかった生活の知恵を子どもたちと一緒に学ぶことができました。
● 今井 私には小学四年生の息子がいますが、その子どものクラスで昨年、土曜日を利用して農作業のボランティア活動を行いました。
四月の学級懇談会の折に、学校週五日制の問題が話題になり、ある保護者の方から「土曜日に子どもたちを集めて何か活動ができないだろうか」という話が出され、これをきっかけに、保護者を中心となって活動を企画。地域の方の畑で農作業の手伝いをしてみようということになり、一回目はさくらんぼ畑の後片付け、二回目はとうもろこしの収穫作業を行いました。
さくらんぼ畑では、木の下に敷いてある反射シートをほうきできれいに掃いて折りたたむ作

業を手伝いました。畑の所有者の方からは大変喜ばれ、お礼にさくらんぼをいただきました。子どもたちも「手伝った」という気持ちが高く、満足感でいっぱいの様子でした。

保護者も何人か参加してくれましたが、「友だちの中で過ごす子どもの様子や一生懸命働く姿など、ふだん見られない子どもたちの表情が見られてとても良かった」「子どもとの会話も弾んだ」と喜んでいました。

●長岡 私は町の青少年育成推進員をしています。青少年育成推進員は七人おり、青少年健全育成町民大会の開催やあいさつ標語の募集、有害図書調査など、町が行う推進活動のお手伝いをしています。

活動の一環として今年初めて小学校高学年を対象にした「お寺のまるごと一日体験塾」を開催しました。つらいことでも簡単に投げ出さない強い心を養うことを目的に企画したもので、

子どもたちは八ッ沼の若宮寺に宿泊して写経や座禅、作務（清掃）など厳しい修行を体験しました。ふだんできないことが体験でき、子どもたちはつらいながらも楽しかったようです。

やれることから少しずつ 広げたい活動の輪

●司会 みなさん、すばらしい活動をされていますが、課題や悩みなどは何がありますか。

●細谷 今年度で上郷小が閉校になってしまいうので、これまでのような活動ができるかどうかが大きな悩みです。学校でお願いしていた地域の先生もいらっしやるので、これまでのようにお力をお借りしながら、保護者が中心となって、子どもたちのための活動を何か考えていかなければならないと思っています。これからみんなで話し合いをして決めたいと思います。

●遠藤 「ドキドキ探検隊」は大谷小の四年生以上が対象なのですが、低学年の子どもは参加できません。町全体の事業をみても低学年を対象にした事業がほとんどなく、低学年の子どもの受け皿をどうするかが今後の課題だと思います。

●長岡 一つの事業をするには

また、高校生ボランティアサークル「林檎tea」のみなさんがスタッフとして協力してくれました。子どもたちのリーダーとして活躍してくれて、その存在は大変大きかったです。

やはりある程度の指導者が必要です。その指導者をどう育成するかが課題です。大人はもちろん、中学生や高校生の参加をさらに増やしたいと思っています。

●司会 では最後に、今後の育成活動に対しての考えなどをお聞かせください。

●細谷 教育の基本はやはり家庭だと思っています。学校週五日制により子どもが家にいる時間が増えたのですから「自分の子ども

みんなで育てよう 地域の子どもたち

の方が私たちの活動に賛同して協力してくださればいいですね。そして、今回宮宿小の四年生が行ったような活動が他の学年や学校にも広がっていけばいいなと思っています。

もは自分（親）が責任を持つ」ということを再認識し、子どもとのふれあいの時間をできるだけ多く持つことが大事ではないでしょうか。

●今井 子ども会のキャンプを例にあげては恐縮ですが、大人



さくらんぼ畑で作業をお手伝い（宮宿小4年生）

子どもを対象にした体験活動事業の紹介

グリーンクラブ



手づくりウィンナーづくりに挑戦

田や畑などの仕事を体験しながら、農業のすばらしさを知ってもらいたいと平成8年に町農業研究所がクラブを立ち上げた。今年度は24人の小学生が加入。一般的な農業体験のほか、ジュースやジャムなどの加工品づくりも行い、また、町の農業まつりでは自分たちが作った農産物の販売も行っている。月1回をめどに活動。

■問合せ先／町農業研究所（電話67-2890）

ナチュラリストクラブ



杉山の水ばじょうを見学

身のまわりの自然や文化にもっと目を向けてもらいたいと、町民の有志により昭和59年に結成された。魚つりやカモシカウォッチング、カヌーなど自然とふれあう活動を年間8回ほど開催している。現在は小学生会員20人、指導者15人で中学生や高校生も指導者として活動に参加している。

■問合せ先／長岡信悦会長（電話67-2840）

ドキドキ探検隊



地元の秋葉山で野宿体験

秋葉山周辺の自然を生かした体験を主とした活動を年間10回行っている。主催北部公民館、共催大谷小、主管ドキドキ探検隊達人クラブ。大谷小の4年～6年生が参加対象。今年度の会員は28人で、馬神ダムでのカヌーや日光山登山などを楽しんだ。

■問合せ先／北部公民館（電話68-2111）

いもがわ少年教室



親子で門松づくり

西部公民館主催の事業で、西部地区の小学生を対象に年4回実施。今年度は地域の方々が講師となり、陶芸教室やクリスマスリースづくり、門松づくりなどを行った。また、地区内の名所を巡り歴史を学ぶといった地域に根ざした活動も展開している。

■問合せ先／西部公民館（電話67-2208）

特集 ● 子どもたちの育成を考える広報座談会 地域の子どもたちをみんなで育てよう

が大変だからやらなかったり、逆に大人が何でもやってしまっ
ては、子どもたちの生活体験の機会を奪ってしまうことになり、本来の目的である「生きる力」を育てることができません。
PTA、子ども会、公民館など、いろんな団体が子どもたちの育成活動に取り組んでいます。が、子どもたちのことを一番に考えた活動を展開しなければならぬと思います。

●長岡 地域は大人と子ども、子ども同士、大人同士など交流を図ることが出来る絶好の場です。子どもたちにはいろんな人

と交流をし、いろんな体験をしながら、人間関係や社会のルール、考える力など多くのことを学んでもらいたいと思っています。

●遠藤 週五日制により、子どもたちを対象にした週末の行事が多くなってきましたので、日程を調整してくれる機関があればいいですね。

また、行事を行う会場についても一カ所だけでなく、できるだけ子どもが参加しやすいように各地区の公民館を順番にまわっていただけたらと思います。特に小さい子どもを対象にすればらしい活動をされている「おはなし会」にお願いしたいです。

そして、親もいっしょに参加できる楽しい機会がたくさんあればいいと思います。

●司会 学校週五日制の導入によって生じるゆとりの時間の中から、子どもたちは様々な体験をし、大きく成長して欲しいと思います。そのためには、家庭、地域、学校、行政がそれぞれの役割を果たしながら、みんなで子どもたちを育てていくことが必要ですね。

みなさん方のますますのご活躍を期待して、座談会を終わりたいと思います。ありがとうございました。

町職員の給与等のあらまし

朝日町職員の給与と定員管理の状況についてお知らせします。

なお、一般職員の給与については、平成十四年十二月町議会で給料一・九五%、期末手当〇・〇五月（特別職含む）それぞれ減額になっています。



大谷小学校

表1 人件費の状況（平成13年度一般会計決算）



表2 給与費の状況（平成14年度一般会計予算）



表3 平均給料月額と平均年齢（平成14年4月1日現在）

区	分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	朝日町	359,100円	44.3歳
	県	368,800円	41.1歳
技能労務職	朝日町	328,700円	44.7歳
	県	337,200円	41.0歳



西部公民館

表4 初任給の状況（平成14年4月1日現在）

一般行政職 (大学卒)	決定給	朝日町	174,400円
	決定給	国	174,400円
	採用	朝日町	188,900円
	採用	国	188,900円
一般行政職 (高校卒)	決定給	朝日町	141,900円
	決定給	国	141,900円
	採用	朝日町	151,800円
	採用	国	151,800円

表5 学歴別・経験年数別平均給料月額の状況（平成14年4月1日現在）

一般行政職 (大学卒)	経験年数10～15年	293,200円
	経験年数20～25年	378,200円
	経験年数30～35年	439,600円
一般行政職 (高校卒)	経験年数10～15年	240,000円
	経験年数20～25年	346,400円
	経験年数30～35年	419,800円

経験年数とは、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合は採用後の年数をいうものです



表7 職員手当（平成14年4月1日現在）

手 当 名	(支給割合)	期 末 手 当	勤 勉 手 当
期末手当 勤勉手当	6 月 期	1.45月分	0.6 月 分
	12 月 期	1.55月分	0.55月分
	3 月 期	0.55月分	—
	計	3.55月分	1.15月分
	職制上の職務級等による加算措置があります		
特 例 一 時 金	支 給 総 額		487,152円
	職員一人当たりの支給年額		2,448円
退職手当	(支 給 率)	自 己 都 合	勧奨・定年
	勤 続 20 年	21.0 月 分	28.875月分
	勤 続 25 年	33.75月分	44.55 月 分
	勤 続 35 年	47.5 月 分	62.7 月 分
	最高限度額	60.0 月 分	62.7 月 分
	定年前早期退職者の特例措置として2％～20％の加算措置があります		
扶養手当	配偶者		16,000円
	第1子	配偶者扶養	6,000円
		配偶者非扶養	6,500円
		配偶者なし	11,000円
	第2子		6,000円
	その他		それぞれ 3,000円
16歳～22歳までの子1人につき 5,000円を加算			
住居手当	借 家	持 家	
	限度額27,000円		3,000円
通勤手当	交通機関利用者		交通用具使用者
	限度額45,000円		限度額24,000円
45,000円を超えた場合は差額1/2を加えます			

表11 定員管理計画

年度	職員数				定数比 (212人)
	町部局等	水道	病院	計	
12年度	151人	5人	46人	202人	△10人
					定数改正 (206人)
13年度	150	4	46	200	△6人
14年度	144	4	46	194	△12人
15年度	141	4	49	194	△12人
16年度	141	4	49	194	△12人

表10の職員数は一般職に属する職員であり、派遣職員を含み、臨時または非常勤職員を除いています

表6 一般行政職の級別職員数の状況（平成14年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1年前の構成比
1級	主事補、技師補	1人	1.0%	1.0%
2級	主事、技師	10	10.9	12.2
3級	主事、技師	10	10.9	9.0
4級	主任	10	10.9	12.2
5級	係長	14	15.2	22.2
6級	補佐、主査	26	28.3	18.2
7級	課長、補佐	17	18.5	17.2
8級	課長	4	4.3	8.0
計	—	92人	100%	100%

労務職と企業職（水道事業所）、福祉職（保育士）を除きます

表8 時間外勤務手当

12年度	支給総額	3,570万円
	職員一人当たりの支給年額	195,080円
13年度	支給総額	3,204万円
	職員一人当たりの支給年額	180,000円

表9 特別職の報酬などの状況（平成14年4月1日現在）

区分	給料 報酬月額	期末手当
町長	820,000円	給与（報酬）月額に40%を加算し、 6月期 1.45月分 12月期 1.55月分 3月期 0.55月分 計 3.55月分 を乗じた額
助役	635,000円	
収入役	585,000円	
教育長	575,000円	
議長	310,000円	
副議長	250,000円	
議員	235,000円	

表10 部門別職員数の状況（各年4月1日現在）

区 分		職 員 数		増減	主な増減理由
部 門		平成13年度	平成14年度		
一 般 行 政 部 門	議 会	3	3		
	総 務	31	29	△2	事務の統廃合縮小
	税 務	7	7		
	農林水産	16	15	△1	事務の統廃合縮小
	商 工	5	4	△1	事務の統廃合縮小
	土 木	9	9		
	民 生	27	25	△2	法令等の改廃
	衛 生	9	9		
	小 計	107	101	△6	
特 別 行 政 部 門	教 育	35	34	△1	民間委託
	消 防	—	—	—	
	小 計	35	34	△1	
公 営 企 業 部 門	水 道	4	4		
	病 院	45	46	1	業務増
	そ の 他	8	9	1	業務増
	小 計	57	59	2	
一 合 計		199	194	△5	

まちの話題

① ゆきだるまコンサート in 朝日町



山響の演奏に合わせて熱唱する町民のみなさん



保育園児も出演し、元気な歌声を響かせた

山響とついに つくる音楽会

特別ゲストに前田沢のオペラ歌手今井倭子さん、司会に作曲家の服部公一

さんを招いて、山形交響楽団とみんなで作る音楽会「ゆきだるまコンサート in 朝日町」が1月26日、創遊館で開催されました。

町内の中学生を含む合唱団や保育園の年長組による合唱、中学生3人によ

るピアノ演奏など、町民と山響が作り上げる手づくりのコンサートを楽しもうと、会場には小学生からお年寄りまで500人が来場。出演者と客席が一つになったすてきなコンサートは、冬の寒さを忘れるくらい温かなものでした。

③ エコミュージアム・カルタ大会



れはどこにあるかな？

楽しみながら学ぶ 町の宝物カルタ

1月25日、創遊館の広場で第5回エコミュージアム・カルタ大会が行われ、17人の小学生が雪上でカルタ取りを楽しみました。

雪の上に並べられたカルタは、A3

判のジャンボサイズ。平成10年に朝日中学生が選んだ「町の宝物カルタ」を大きく引き伸ばして作られたものです。

小雪が時折舞う中、低学年と高学年に分かれて激しい札の争奪戦を展開。子どもたちは読み手の声を合図に絵札をめがけて猛ダッシュ。ハアハアと息を弾ませながら、心地よい汗をかいていました。

② 宝くじ助成事業

公園整備機械を購入

西部振興協議会（齋藤聖司会長）が、平成14年度コミュニティ助成事業（宝くじ助成）を受けて、芝刈り機や動力噴霧器などの機械器具を整備しました。

これは、西部地区民のコミュニティ活動拠点施設として整備した「熊ノ山公園」一帯の環境を整備・維持管理し、コミュニティ活動のさらなる活性化をめざし整備したものです。



④ 朝日自然観CUPハーフパイプ大会



ダイナミックな技を披露する参加者



今シーズン新設されたハーフパイプ



渡辺恭介くん(大谷二)の滑り

東北最大級の ハーフパイプで技競う

今シーズン新設したハーフパイプを使用して「朝日自然観CUPハーフパイプ大会」が1月26日開催されました。

今大会は日本スノーボード協会の公認大会で、全国各地から男女80人が参加。町からは高校生の渡辺恭介くん(大谷二)がただ一人出場しました。渡辺くんは惜しくも決勝へ進出することが

できませんでしたが、自慢の技を堂々と披露してくれました。

3mもある壁に向かって滑り、ダイナミックな技やスピードを競うハーフパイプ競技。技が決まるごとに大きな歓声が沸きあがっていました。

⑥ 交遊塾

市町村合併研修会開催

北部公民館と北部地区婦人会・若妻会主催の合併研修会が2月2日、秋葉山交遊館で開催されました。当日は、県市町村課の石沢義久課長補佐と清野町長を講師に迎え県内や西村山の現状について学習しました。

石沢課長補佐は、「国や地方自治体の厳しい財政事情により、最近法定協議会や任意協議会の設置が全国的に増加している」と最新の事態について説明されました。

続いて清野町長からは西村山の状況について「各市町に温度差があり、今後の話し合いによるところが大きい、1市4町の枠組みで話し合うことになるだろう」と現状が説明されました。

会場からは「町長の指導力を発揮してほしい」「農協の合併の轍を踏まないよう配慮し、合併を推進してほしい」などの意見が出されました。



活発な意見が出された研修会

⑤ 上郷ダムの白鳥たち



ボランティアで餌付けを行う齋藤長吉さん(大滝)

シベリアから来た 冬の使者

約3,000キロ離れた北の大地シベリアから今年も白鳥たちが上郷ダムにやってきました。

ボランティアで餌付けを始めて6年になる齋藤長吉さん(大滝)の話では、11月18日に13羽が初飛来し、その後徐々に増え、現在は約50羽が湖面で羽を休めているとのこと。

同じくボランティアをされている松



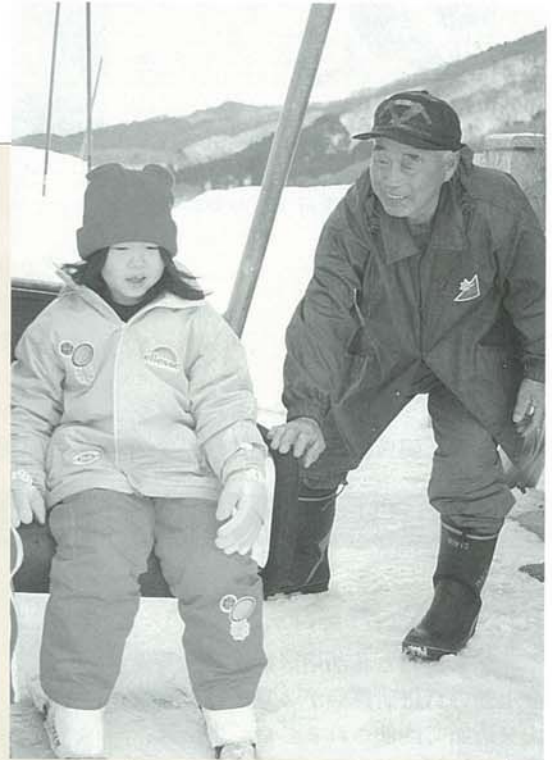
毎日エサを与えてくれる鈴木章さん(松程)

程の鈴木章さんは「エサがもらえるとわかるのか、私を見ると鳴きながら寄ってきます。とってもかわいいですよ。みなさんも白い優雅な姿をぜひ間近で見てください」と話しています。

おわびと訂正

1月号「まちの話題・あいさつ標語表彰式」の記事中、遠藤奈美さん(朝日中2年)の学年を誤って掲載しました。おわびいたします。

みんな の ひろば



「ありがとう、また来るね」の一言がうれしくて

今輝いて

佐竹 佐市さん
(白倉・69歳)

昭和52年の白倉スキー場オープン当初からスキー場運営に携わる大ベテラン。

白倉スキー場時代にはグレンデ整備車のオペレーターもこなし、現在はユーユーリフトの班長を務める。

朝日自然観を訪れたみなさんがケガなく楽しく滑れるよう、リフト乗降の安全に気を配り、やさしい笑顔で接客中。

ロープ塔一基の「白倉スキー場」がオープンしたのは今から二十四年前。当時は二百人も入ればいっぱいになるくらいの大きさで、白倉地区の男衆がグレンデの管理をして、女衆が食堂を切り盛りする小さなスキー場だった。収入も出稼ぎに行っていたところに比べると少なく、金銭的には大変だったけれども、お客さんとの楽しいふれあいとお金以上のものだった。小さい子どもを連れてお客さんが来ると、食堂で女衆が自家製の料理を振る舞いながら子守りをし、親が滑るといったアットホームな雰囲気があった。

千人を数えるようになった。一日の売り上げが初めて百万円を超えた時には、みんなで盛大にお祝いした。昔はリフトから飛び降りる子どももいて、おっきい声で「しゃいだりもした。その子はもう立派な大人になったけれど、今も滑りに来てる。」

「おんちゃんありがとう、また来るな」というお客さんの一言がうれしくて、今日まで続けてきたようなものだ。

今年も「ケガをさせない」「笑顔でいいねい」と心がけ、お客さんの喜ぶ顔を励みにがんばるぞ。朝日自然観は今一番いい時期だから、みんなもスキー乗りに来てけれ。待ってっさげ。



オープン当初の白倉スキー場



沼 向／

佐藤

貴志さん
恭子さん



新婚さん

結婚して3カ月、

「結婚前とぜんぜん変わっていません」というアツアツの二人。

岩手県生まれの恭子さんは、剣道留学で山形県内の高校に進学し、早くから親元を離れて剣道に打ち込んだ芯の強いしっかり者。卒業後、同年だった二人はそれぞれの友だちを介して知り合いました。すでに社会人だった貴志くんは、高校卒業後も一人県内にとどまって勉強を続けていた彼女の前向きな生き方にどんどんひかれていったそうです。でも彼女のご両親が岩手に帰って就職するのを望んでいたもので、何も言い出せないまま月日は流れていったとか。ところが、恭子さんを訪ねてきていたご両親とバッタリ鉢合わせ！あいさつしたところすっかり気に入られ、6年間の長い交際の末めでたくゴールイン。

貴志くんはバスケットボールサークルで汗を流し、恭子さんは剣道スポ少で指導にあたるというさわやかなカップルです。

今月の新刊

おすすめ本！

「屋上のあるアパート」



「屋上のあるアパート」

阿川 佐和子 著

麻子は情けなくなってきた。どうして自分は何をやってもうまくいかないのか。結婚も仕事も、一人暮らしすらまともにいかない。素敵な出会いを夢見ながらすれちがう恋心。ちよっぴりほろ苦いラブコメディ。

「人権」報道

読売新聞社 編

真実を伝える責務と被害者・容疑者への配慮。狭間で苦悩する記者たち。報道の形を現実の事件に照らして赤裸々に記した懊悩の軌跡。

「縁起のいい客」

吉村 昭 著

小説の素材がダイヤモンドなら、エッセイの素材はエメラルド。ひたむきに求め、きつぱりと諦める。「熱願冷諦」を信条に無理をせずに自然体で生きる。心にしみるエッセイ集。

▶五郎治殿御始末(浅田次郎)▶冬のはなびら(伊集院静)▶虚無のオペラ(小池真理子)▶年下の女友達(林真理子)▶クローン人間(響堂新)▶ハゴロモ(吉本ばなな)▶人形(佐藤ラギ)▶火の粉(栄井修介)▶個人情報保護法と人権(田島泰彦)▶メリー・ワイドワルツ(赤川次郎)▶水曜日のジゴロ(栗本薫)

町民の声

米寿者に賀詞と記念品
長寿者にお祝い金贈呈



三人ぞろって米寿を迎えられた阿部さんご夫婦

町内にお住まいの長寿者（100歳以上）4人と米寿者（88歳）62人に1月8日、長寿を祝い賀詞等が贈られました。

今年めでたくご夫婦で米寿を迎えられた阿部孝右工門さん あさゑさんご夫妻（常盤）は、毎日仕事をしたり、趣味のカラオケや俳句を楽しんでおられるそうで、「くよくよ悩んだりせず、笑って毎日暮らすことが長生きの秘訣でしょうか。これからも二人仲良く丈夫でいたいですね」と、お互いに見つめ合いながら、にこやかに語ってくれました。

長寿、米寿を迎えられた方は次のみなさんです。

○長寿者 100歳以上

鈴木イチ（ふれあい荘）、柴田さく（四ノ沢）、今井ゆみ（大町）、佐藤ちゆう（ふれあい荘）

○米寿者 88歳

布施辰之助（本町）、清野さく（本町）、鈴木與三郎（西町）、海野なを（西町）、安藤チヤ（栄町）、安達あさゑ（栄町）、鈴木貞蔵（助ノ巻）、鈴木長三郎（大町）、峯田やすの（大町）、富樫ふじ（大町）、五十公野武（元町）、澁谷榮蔵（元町）、阿部みさ（西原）、阿部さくゑ（西原）、菅井のぶ（前田沢）、成原清助（前田沢）、今井権三郎（前田沢）、成原まつ（新宿）、清野正（四ノ沢）、長岡マツノ（四ノ沢）、菅井助雄（ふれあい荘）、小和田直子（ふれあい荘）、白田リヤウ（ふれあい荘）、長岡恒好（ふれあい荘）、海野くら（ふれあい荘）、白田徳（ふれあい荘）、菅井よしの（宿）、鈴木まさの（宿）、

高橋ミノ（沼向）、清野安一（古楨）、渡邊チヨ子（送橋）、佐竹恒男（宇津野）、柴田五郎兵衛（大滝）、齋藤いな（大滝）、渡邊貞子（緑町）、阿部孝右工門（常盤）、阿部あさゑ（常盤）、阿部まさ（常盤）、阿部政治（常盤）、阿部善夫（夏草）、阿部美代子（夏草）、阿部とわ（夏草）、海野さく（西船渡）、長岡モト（高田）、海野ソヨ（長沼）、長岡タツノ（太郎一）、長岡つねよ（太郎二）、長岡俊治（太郎二）、佐藤まさ（石須部）、清野小一郎（立木）、白田せき（松程）、白田みつ（大谷一）、青木ハルエ（明鏡荘）、石川静枝（明鏡荘）、石塚きみ（明鏡荘）、渋谷ウノ（明鏡荘）、今野光榮（大谷五）、白田しづ江（大谷六）、渡邊たかゑ（大谷六）、五十嵐藤雄（中沢）、齋藤ヨノ（栗木沢）、小林フクエ（大沼）

順不同・敬称略

除雪体制について 質問します

昨 年十二月、まだ雪が降らない時期から除雪隊員は勤務しているようでしたが、人件費のむだ遣いのような気がします。一体何の仕事をしているのですか。

（匿名）

答

日ごろより冬期間の除雪につきましましては格別なる

ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、雪も降らない時期から除雪作業員は何をしているのか」とのご質問ですが、例年十二月一日からの採用となり、雪が降るまでの間、次のような仕事を行っています。

①除雪を担当する路線ごとに現況と注意箇所等の確認。

②危険箇所や障害物などへ目印となるボールの設置。

③重機について、夏用装置から

冬用装置への交換装着。

④除雪作業に支障となる樹木の枝払い。

⑤建設課管理の公衆用トイレや街路樹の雪囲い。

⑥側溝の水があふれて凍結しないよう、側溝に詰まった落ち葉類の処理。

⑦舗装道路に空いた穴の補修。

以上のように、降雪前は除雪に備えた作業を行っております。今後とも効率的な作業を進め、経費の節減に努めていきたいと

雪の事故に注意

二年ぶりに 豪雪対策本部を設置

一月下旬の強い寒気団の影響で、町内の積雪が宮宿で一三〇cm、立木で一五〇cmを記録したことから、町では町民のみなさんの安全確保につとめるため、一月三十日に清野町長を本部長とする朝日町豪雪対策本部を設置しました。

今のところ大きな被害は確認されていませんが、二月に入り、今後も大雪が心配されますので、建物の倒壊や除雪作業中の事故、なだれなどには十分注意してください。

また、排雪の際は道路に雪を出さないようご協力をお願いします。





すこやかに

(出生届)

区 名	出生児氏名	性別	保護者名
大谷五	藤田 康 ^{こう}	男	康德・道代
大 町	海谷 祥子 ^{しょうこ}	女	篤・信子
大谷七	堀 如水 ^{すい}	男	吉和・淳子
大谷二	白田 樺南 ^{かんな}	女	斉・智美
大 町	東海林 冬聖 ^{とうせい}	女	仁士・純子
古 楨	清野 洵 ^{じゆん}	男	崔鑑八・千春
真 中	遠藤 加菜 ^か	女	博幸・美加
中 沢	堀 愛姫 ^{あいき}	女	啓・敦美



おしあわせに

(婚姻届)

熊 谷 良 作 ^{りょうさく}	♡	鈴 木 明 実 ^{めいみ}
(前田沢)		(河北町)
志 藤 仁 ^に	♡	長 岡 美 樹 ^{みき}
(大谷六)		(山形市)
児 珠 梓 ^{そう}	♡	奥 山 眞 未 ^{まみ}
(太郎二)		(寒河江市)
白 田 裕 樹 ^{ゆうじ}	♡	伊 藤 まゆみ ^{まゆみ}
(大谷六)		(西川町)
川 村 常 雄 ^{とよく}	♡	金 星 姫 ^{きんせい}
(送 橋)		(韓 国)



やすらかに

(死亡届)

区 名	死亡者氏名	世帯主
元 町	鈴 木 ましゑ	一 男
小 原	清 野 東 助	良 治
栗木沢	佐久間 まさ	兵 一
中 沢	五十嵐 武 雄	勉
宇津野	安 藤 同 子	き く
明鏡荘	兼 子 ふじを	本 人
元 町	鈴 木 よしゑ	本 人
本 町	今 野 不 二 雄	優
四ノ沢	福 浦 勲	た へ
松 程	鈴 木 喜代治	義 昭
大 隅	大 竹 よ ね	本 人
中 沢	五十嵐 京 子	本 人
長 沼	海 野 同	ち 子
常 盤	白 田 孝 吉	孝 一
高 田	長 岡 マサノ	喜一郎
八ツ沼	大 沼 榮 悦	剛
大谷四	原 や よ	信 敏
松 原	長 岡 新	本 人
能 中	渡 邊 三 男	み 子
太郎一	長 岡 幸 多	く に え

みなさんからののおたよりでつくるコーナーです。

町に対する意見や要望、提案、みなさんの周りでの出来事や話題、日ごろ感じていること、イラスト、質問などお待ちしております。

■あて先/〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地

朝日町役場企画課 企画広報係

(☎67-2112 FAX67-2117)

■Eメール/kikaku@town-asahi-yamagata.com

毎 年近所の子どもを連れて朝日自然観へ行っています。朝日自然観へ行って、子どもたちのリフト代が大きな負担になっています。そこでお願ひですが、保育園の子どもくらいはリフト代を無料にしたいだけないか検討をお願いし

保育園児のリフト代を無料に



除雪作業に励む除雪隊

考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

(建設課)

な、現在、第一日曜日と第三日曜日が小学生以下無料となっておりますので、どうぞご利用ください。

答 いつも朝日自然観をご利用いただきまして感謝申し上げます。ご提案いただきました保育園児のリフト代金無料の件について検討いたしました。周知の関係もあり、来シーズンより無料の方向で進ませていただきます。と考えております。

ます。東根市のスキー場では今シーズンより小学生以下終日無料と聞いておりますのでぜひお願いいたします。さらに、スキー場内のレストランに禁煙席の設定もあわせて検討ください。

(鈴木秀司さん・松程)



親子でスキーを楽しもう！

用ください。また、スキー場内のレストランにおける禁煙席の設定については、さっそく各箇所に設けました。このたびは貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。

(朝日自然観)

人口と世帯数

●平成14年12月31日現在

人 口	9,247人 (減4人)
男	4,596人 (減3人)
女	4,651人 (減1人)
世帯数	2,582戸 (増1戸)

() 内前月比

人口と世帯数

●平成15年1月31日現在

人 口	9,248人 (増1人)
男	4,592人 (減4人)
女	4,656人 (増5人)
世帯数	2,581戸 (減1戸)

() 内前月比

わたしの作品



「スノーランタン」

ふたば家庭教育学級



「ドラえもん」「トトロ」「熱帯魚」などが暗闇に次々と浮かび上がります。1月18日、西部公民館わきの芝生広場で、ふたば保育園の園児と父母たち約100名がスノーランタン作りを行いました。

当日午後3時からスコップやバケツを持ち寄って集まった父母のみなさんは、子どもたちと一緒に思い思いのランタン作りに取り組みました。途中の休憩では、公民館が準備したあったかい甘酒をごちそうになりながら、2時間ほどで35体の雪像が完成。辺りが暗くなった午後5時に、一斉に口ウソクを灯すとやわらかい光が雪像を浮かび上がらせていました。

春 夏 秋 冬

編集後記

一月号の取材で水本の高橋さんの家を訪ねた時、たまたま山形市に住む息子さんから電話がかかってきました。取材は中断となり、「何だか悪いな」と思いながらも、私はしばらくお二人の会話を耳を傾けました。
電話は、明日病院に行くというお父さんを心配したもので、今、カゼが流行しているからマスクをつけていった方がいいよ」というような内容でした。

仕事の関係で離れて暮らす息子さんが両親を気づかいかけてきたもので、聞いていた私も大変胸が熱くなりました。

「こんな温かな親子関係、すてきなな」と思うとともに、「きっと、小さい時から互いに信頼し合う関係を築いてきたのだろう」とも思いました。高橋さんのようなすてきな親子関係、私のあこがれです。

(F)



広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。